

# 平成30年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## I 総務課

住み慣れた地域で、安心して暮らせるための支援とし、地域福祉活動では地域住民が相互に支え合える地域づくりのため、ふれあい地区社協活動を中心とした見守り活動や公民館活動への支援を行いました。

また、様々な問題が複合して起こる生活上の問題に対応するため、関係機関と連携を図り引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮、子育て世帯、青少年の不登校やいじめなど日常生活に不安を抱えている方へ寄り添いながら支援を行いました。

### 1 理事会、評議員会の開催

#### (1) 理事会

回数	日時	提出議案
第1回	5月31日(木) 午前10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度会計予算流用について</li> <li>平成29年度予算の専決補正の報告について</li> <li>平成29年度事業報告及び決算について</li> <li>平成30年度定時評議員会の招集について</li> <li>平成30年度理事及び監事候補者の承認について</li> <li>平成29年度日赤募金会計決算について</li> </ul>
第2回	1月31日(木) 書面議決による同意	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業規則の一部改正について</li> <li>人事院勧告に基づく職員の給料改定に関する報告</li> </ul>
第3回	2月8日(金) 書面議決による同意	<ul style="list-style-type: none"> <li>給与等に関する規程の一部改正について</li> </ul>
第4回	3月22日(金) 午前10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度会計予算流用について</li> <li>嘱託職員等就業規則の一部を改正する専決処分について</li> <li>平成30年度第1次補正予算(案)について</li> <li>平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について</li> <li>平成30年度第2回評議員会の招集について</li> <li>平成31年度日赤募金会計予算(案)について</li> </ul>

#### (2) 評議員会

回数	日時	提出議案
第1回 定時	6月13日(火) 午後1:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度第3次補正予算について</li> <li>平成29年度事業報告及び決算について</li> <li>新役員(理事、監事)の選任について</li> </ul>
第2回	3月28日(木) 午前10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度第1次補正予算(案)について</li> <li>平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について</li> </ul>

#### (3) 監査

回数	日時	内容
第1回	5月25日(金) 午前10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度決算監査</li> </ul>

## II 地域支援の重点事業の成果及び実績

### 1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

ふれあい地区社協の活動に対し支援を行いながら、地域や高齢者の抱えている課題を明確にし、住民主体による課題の解決をするため地域福祉活動の推進に努めました。

#### (1) ふれあい地区社会福祉協議会

##### ア 役員会・代表者会議

区 分	日 時	場 所
第1回役員会	8月16日(木) 午前10時～11時	ふれあいセンター
第2回役員会	11月14日(水) 午前10時～11時	
第3回役員会	12月13日(木) 午前10時～11時	
第4回役員会	2月6日(水) 午前10時～11時	
第1回代表者会	5月7日(月) 午後1時30分～午後2時30分	
第2回代表者会	9月25日(火) 午後1時30分～午後2時30分	

##### イ ふれあい地区社協校区别研修会

日 時	校 区 (場 所)	参加 者数	研修会内容
9/15(土) 10:00～12:00	六栄校区 (地域福祉センター)	47人	ワークショップ: 「地域課題の発見と新たな仕組みづくり」 ①助けられ上手・助け上手体験 (カードを利用したゲーム感覚の擬似助け合い活動) ②地域の課題と地域課題の緩和に向けた活動のしくみを考える (1グループ6人～8人に別れ、グループにて地域課題等の話し合いを行う)
9/1(土) 10:00～12:00	長洲校区 (町民研修センター)	80人	
10/18(木) 10:00～12:00	腹赤校区 (腹赤区公民館)	29人	
9/13(木) 10:00～12:00	清里校区 (梅田区公民館)	20人	

##### ウ ふれあい地区社協合同研修会開催

地域住民相互の親睦と融和を深め、より一層のふれあい地区社協活動に取り組めるよう講演会や各地域の活動報告を行いました。

日時・場所	内 容
11月30日(金) 午後1時～ 午後3時30分 ながす未来館	講 演 演題:「荒尾警察管内における振り込め詐欺などについて」 講師:荒尾警察署 生活安全課 巡査部長 肝付 兼士朗氏 校区别代表者活動報告 腹赤校区(腹赤新町区 伊藤民雄氏) 清里校区(建浜区 高野敏美氏) 六栄校区(塩屋区 池田一吉氏) 長洲校区(松原区 松浦秋則氏) ご長寿早押しクイズ 参加者26人 抽選会 賞品本数 20本 地域物産店参加地域 赤崎区 高田区 赤田区 永方区 鷺巣区 向野区 西新町区 大明神区

(2) 高齢者世帯困りごとアンケート調査

高齢者の方々の生活の状況や意識などの調査を行い、地域や高齢者の抱えている課題を把握し、新たな支援体制を創っていくことを目的として実施しました。

調査対象者 70歳以上の高齢者及び夫婦世帯  
高齢者の親と子の同居世帯  
見守りが必要な世帯

配布件数 685件 回収件数 395件 回収率 57.6%

調査結果報告 広報ながす11月号中社協だよりもやいNo. 130号に記載

(3) ボランティアセンター事業の推進

ア ボランティア活動育成事業

(ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校

(イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3団体

(ウ) クリーンウォークの実施(共催:長洲町手をつなぐ育成会)

日時 11月3日(土)9時~10時30分

実施場所 国道501号線沿い及び中道児童公園から町役場周辺

参加人数 63人(長洲49人 ひまわりの里14人)

(エ) メイクアップボランティア養成及び活動実績

メイクアップボランティア養成 参加者 10人

講師 (株)DHC 小田都子氏

講座日程 6月28日(木)午後1時~午後4時

6月29日(金)午前10時~午後3時30分

講座内容 ポイントメイクの方法

自主練習 7月19日(木)午後1時30分~午後3時

メイク方法のチェック表を基にお互い確認しながら  
学んだことをおさらい。

メイクアップ教室 開催地区 10地域

参加者 延べ人数 161人

活動ボランティア延べ人数 58人

取引基本契約締結 3月7日(水) (株)DHCと社協において、商品販売  
に関する契約を締結

イ 総合学習

ボランティア協力校からの依頼に対し、福祉を身近に感じる体験学習を行うため、依頼内容に合わせた講師の紹介や、社協職員の指導による車いす操作体験などを行い、福祉教育の推進を図りました。

学校名	月日	内容	講師	参加者数
腹赤小学校	7月6日(金)	車いす体験・高齢者疑似体験	社協 職員	36人
六栄小学校	10月30日(火)	車いす体験		29人
長洲中学校	11月15日(木)	手話講師の紹介 (手話サークル 玉名わかぎ 2人)		

(4) 児童・青少年福祉活動

ア 新小学一年生への援助

入学児童133人分の入学祝として(クーピー)を贈呈しました。

イ 子どもデイサービス事業

月日: 8月7日(火)8日(水)(2日間)

参加者: 小学生 16人 学生ボランティア 12人

(5) 各団体への支援活動

月 日	支援団体／内 容	場 所
6月2日(土)	【身体障がい者福祉協議会】 熊本県障がい者グラウンドゴルフ大会 協力援助	阿蘇市 農村公園あびか
8月11日(土)	【ひまわりの里】 夏祭り出店協力及び職員派遣等支援	腹赤小学校グラウンド
10月23日(火)	【身体障がい者福祉協議会】 玉名郡身体障がい者球技大会協力援助	南関町農村広場
3月17日(日)	【スローすてっぷ】 第6回春まつり i n スローすてっぷ出店 協力及び職員派遣等支援	スローすてっぷ

(6) 実習生受入れ

学校人	受入期間	内 容	受入数(人)
九州看護福祉大学	7月30日(月)～9月4日(火)	相談援助実習	2
九州保健福祉大学	8月16日(木)～10月11日(木)	相談援助実習	1

2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

(1) 心配ごと相談所

毎月第3火曜日に弁護士による相談所を開設しました。

(単位：件)

相談内容	住宅	家族	老人福祉	離婚	人権	財産	医療	職業・生業	その他	合計
件数	1	7	1	2	1	7	1	3	5	28

(2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業」や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の安定や自立支援に向け対応しました。

ア 生活福祉資金貸付事業

(単位：件)

種 別	相談件数	申請件数	決定件数	他制度等 繋ぎ	対象外・ 相談のみ
福祉資金貸付	1	0	0	0	1
教育支援資金貸付	0	0	0	0	0
総合支援資金貸付	3	0	0	2	1
緊急小口(特例貸付)	10	0	0	9	1
不動産担保資金	0	0	0	0	0
計	14	0	0	11	3

イ 福祉金庫貸付事業

(単位：件)

種 別	相談件数	申請件数	決定件数	不承認 件数	取下げ 件数	対象外・ 他制度等
福祉金庫貸付	10	7	6	1	0	3

### 3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減に努めました。(単位：人)

実利用者数	年度当初利用者数	新規契約	契約解除	支援員数	対応回数(回)
11	10	2	1	5	618(支援員・職員対応)

※ 実利用者数内訳 認知症7人 知的障害者3人 その他1人

### 4 預かりサービス

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして預かりサービスを平成26年4月1日より実施しております。(単位：人)

実利用者数	年度当初利用者数	新規契約者	契約解除者	対応回数(回)
7	3	6	2	517(職員対応)

### 5 赤十字講習会

#### (1) 日赤奉仕団の講習会開催

赤十字奉仕団としての自覚を促し、意識の高揚を図るとともに、活動するために必要な知識と技術を身に付けることを目的に開催しました。

実施日	内容	講師	参加者数(人)	場所
6月24日(日)	心肺蘇生法及び災害が起こった時の対応について	日赤救急法指導員 山内 俊雄 氏	36	中央公民館

### 6 受託事業

#### (1) 安心生活基盤構築事業

日常生活を送る上での困りごとの解消を図るため、地域住民相互の支え合活動の一つとして有償ボランティア「ささえあい」事業を展開しました。

ア 協力会員交流研修会 10月26日(金)参加者32人

イ 有償ボランティア利用実績報告

利用内容	利用件数(件)	利用内容	利用件数(件)	合計(件)
掃除・片付け	188	買物	95	800
ゴミ出し	514	薬の受取	3	

※ 協力会員活動実人数 23人 利用会員利用実人数 28人

ウ 有償ボランティア「ささえあい」事業地域説明会 6地区 6回

エ 平成30年度新規登録者数 協力会員数 11人 利用会員数 13人

辞退 4人 辞退 7人

累計 協力会員数 114人 利用会員数 59人

#### (2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日に施行され、生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを目的に包括的な支援に取り組みました。

前年度からの継続 26件(内 継続支援中 16件 他機関へ繋ぐ10件 終結3件)

新規相談件数 18件(内 継続支援中 4件 他機関へ繋ぐ3件 終結11件)

#### (3) 緊急対応生活支援事業

緊急的かつ一時的に食材や日用品等の生活に必要なもの確保できなくなり、生命が脅かされる恐れとなった場合、現物支給し他の制度に繋ぎ生活再建の支援を行ないました。

支援件数 合計 8 件 食材費 855 円/1 件 備蓄食材配布 7 件

## 7 子育て支援・児童健全育成事業の推進

### (1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流をできるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生日会」などを開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、情報誌「にこにこ通信」の発行を行い、子育てサークルを支援し、より多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施しました。

開館日数	利用者延人数	一日平均利用者
302 日	幼児 4,324 人、 大人 3,467 人	25 人

#### ア 各種行事 (開催場所：子育て支援センター)

月 日	行事内容及び参加者数		
毎月第1木曜日	<b>◆にこにこサロン</b> 4月：交流会 5月：こどもの日 6月：パステルアート 7月：七夕 8月：水遊び 9月：ミニ運動会 10月：幼児安全法（講師：日赤熊本県支部） 11月：子育て講演会（講師：本田ひろみ氏） 12月：クリスマス会 1月：親子ダンス 2月：豆まき 3月：フラワーアレンジメント 延べ利用者数 大人 191 人 子ども 241 人		
4月25日(水) 10月31日(水)	<b>◆はいはい・よちよち大会 (年2回)</b> 大人 22 人、子ども 23 人 大人 25 人、子ども 30 人		
6月30日(土)	<b>◆人形劇鑑賞会 (年1回) ※世代間交流事業</b> 演題「ともだちげきじょう」 大人 35 人 子ども 59 人	人形劇団ののはな	
11月15日(木) 3月8日(金)	<b>◆おゆずり会 (年2回)</b> 大人 9 人、子ども 11 人		
9月22日(土)	<b>◆コンサート (年1回) ※世代間交流事業</b> 大人 24 人、子ども 22 人	講師： 酒井円香先生	
4月27日(金) 7月26日(木) 10月26日(金) 1月25日(金)	<b>◆ベビーマッサージ (年4回)</b> 大人 12 人、子ども 14 人 大人 5 人、子ども 7 人 大人 7 人、子ども 8 人 大人 5 人、子ども 5 人		講師： 藤本よしみ先生
5月24日(木) 7月26日(木) 10月26日(木)	<b>◆親子ヨガ (年4回)</b> 大人 13 人、子ども 14 人 大人 11 人、子ども 12 人 大人 10 人、子ども 11 人		講師： 宮本明日香先生

1月25日(木)	大人 12人、子ども 15人	
6月22日(金) 12月14日(金)	◆ベビーアート (年2回) 大人 12人 子ども 13人 大人 19人 子ども 24人	
毎月(年12回)	◆1歳の誕生会 参加者：町内の1歳を迎える幼児とその保護者 大人 74人 子ども 86人	
毎週火曜日	◆ごきげんタイム 内容：手遊び・リズム遊び・折り紙・シール遊び・お話会・制作等 大人 392人 子ども 487人	
年間 全19回	◆イザベラ先生の英語教室 大人 128人 子ども 160人	
随時	◆地域支援活動・幼児健診支援・サークル支援活動等 町で行われる「7か月健診」や「2か月広場」などの支援や子育てサークル「でてこんね～」の支援を行いました。	

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てできるよう」援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、健康を増進し、情操を豊かにしいつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

月 日	行事内容及び参加者数
5月12日(土)	◆児童館まつり 大人 68人 子ども 160人 幼児 71人 中学生ボランティア 29人 高校生ボランティア 19人 計 347人
年10回	◆児童館クラブ 会員数 30人 6月：交流会 7月：護身術 8月：環境教室 9月：防災教室 10月：あそびの教室 11月：ダンス教室 12月：クリスマス会 1月：パンづくり 2月：きな粉づくり 3月：玉名郡市児童館交流会&お別れ会
毎月1回	◆ビデオシアター 延利用者数 子ども 81人、幼児 32人、大人 31人 場 所：中央児童館 内 容：ビデオ鑑賞会
8月8日(水) 12月22日(土)	◆カルチャー教室(料理・フラワーアレンジメント) 料理 参加者：児童12人 講師：保健センター栄養士 フラワーアレンジメント 参加者：児童12人 講師：宮野幸子先生
7月25日(水)	◆体験活動(年1回) 菊池少年自然の家 「ニジマスつかみ等」 参加者：児童10人
9月22日(土)	◆コンサート(※世代間交流) 子育て支援センターと合同 参加者：児童5人 講師：酒井円香先生
	◆人形劇鑑賞会(※世代間交流) 子育て支援センターと合同

6月30日(土)	参加者：児童10人 演題「ともだちげきじょう」人形劇団ののはな
1月4日(金)	◆新春書初め大会 参加者：児童30人 講師：竹本みどり先生
夏休み期間中	◆出前講座(長洲町内小学校 学童) 六栄・腹赤・長洲・清里小学校の4つの学童へ 内容：夏休み期間中、スピードカー制作

#### IV 地域包括支援課

##### 1 包括的支援事業(地域包括支援センター)

###### (1) 介護予防ケアマネジメント業務

ア 地域住民への介護予防の取り組みとして、栄養や口腔ケアも含めたロコモ予防などについての周知を図りました。

日付	行政区	内容
4月8日	赤崎区	フレイル(虚弱) 予防を中心とした健康講話
9月16日	新町区	フレイル(虚弱) 予防と健康寿命について
11月6日	松原区	ロコモ(運動器不安症) 予防を含むフレイル予防について

イ 介護予防ケアマネジメントケアプラン件数 1,057件

###### (2) 総合相談支援業務

相談関係	相談件数(件)	相談関係	相談件数(件)
本人	888	区長	63
家族	654	近隣	38
関係機関(行政・社協)	548	医療機関	420
ケアマネ・介護サービス事業	413	その他	138
民生委員	241	合計	3,403

相談方法	相談数(回)
来所	736
電話	1,484
訪問	683
情報提供	454
その他	46
合計	3,403

相談内容	相談回数(回)
介護に関する事	699
介護保険に関する事	844
地域支援事業に関する事	140
健康管理や医療保険に関する事	832
福祉サービスに関する事	138
日常生活に関する事	468
高齢者虐待に関する事	81
権利擁護・成年後見に関する事	169
消費者被害に関する事	23
長洲町見守りネットワークに関する事	9
合計	3,403

###### (3) 権利擁護業務

###### ア 相談対応

相談内容	高齢者虐待	権利擁護・成年後見	消費者被害
相談回数(回)	81	169	23

###### イ 高齢者虐待に関する対応・会議

高齢者虐待に関しては、本人及び関係者への聞き取りによる事実確認及び対応を行った事案が3件、緊急性を判断する会議を実施して対応方針を決め、対応した事案が2件ありました。



ウ 消費者被害未然防止の取り組みについて

消費者被害未然防止のため、長洲町で実際あった消費者トラブルを寸劇を通し、消費者被害に合わないよう地域住民に注意喚起を行いました。(一人暮らし高齢者のつどい3ヶ所、下本区、古城区にて実施しました。)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 支援件数 116件

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、以下の支援を行ないました。

ア ケアマネジャーの技術向上のため日常的個別支援

イ 支援困難事例等への指導・助言など

ウ 相談対応の延べ回数

支援内容	回数(回)	支援内容	回数(回)
ケアマネジメント支援	85	社会資源の紹介	14
主治医連携	1	対人援助技術	3
制度説明・確認	13	研修・学習	1
個人の悩み事相談	12	同行訪問	12
その他	20	合計	161

エ 研修会の開催

多職種連携研修会

日時 10月12日(金) 午後6時30分から8時40分

テーマ 「認知症高齢者とその家族を支えるために」

～事例を通して各関係機関との連携を考える～

講師 淡河・黒田医院 黒田 温 先生 たかさき歯科医院 高崎 稔 先生  
有明広域消防本部 長洲分署 塩山分署長  
松山洋司法書士事務所 松山 洋氏  
福祉保健介護課 地域支援係 平 係長

参加者 医師・看護師・薬剤師・救急隊・金融機関・介護支援専門員・  
介護事業所・行政等 計87人

(5) 認知症総合施策事業

ア 認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーターの養成を実施しました。また、認知症サポーター養成講座に伴うキャラバンメイト意見交換会を年2回(6月・11月)行いました。

日付	対象者	人数(人)
7月19日	長洲小学校6年生	49
8月30日	清里小学校6年生	18
9月20日	「にじいろカフェ」の参加者とボランティア	20
10月29日	上町区敬老会	19
11月1日	長洲中学校1年生	66
11月29日	古城区	28
1月30日	民生委員・児童委員協議会	28
合計		228

イ 認知症カフェの開催の支援

町内4事業所で開催されている認知症カフェについて、内容の検討や当日の準備、運営と関わりながら支援をしています。また、認知症カフェの内容の充実を図るために情報交換会を年2回(6月・11月)行いました。

ウ 認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した搜索・通報の訓練も合わせて実施することで、認知症の人やその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることができました。

開催日 2月10日(日)

参加者 3地区(東荒神・西荒神・大明神)合同 64人

エ RUN伴 熊本2018 長洲エリア

認知症の人や家族、支援者、一般の人が一緒にタスキをつなぎゴールを目指し、「認知症になっても安心して暮らせていける町づくり」を推進する活動を実施しました。

開催日 11月11日(日) 参加者 約120人

オ 認知症初期集中支援チーム

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供の早期診断・早期対応を目的として支援しました。

新規相談数 3件 訪問回数 33回

(6) 地域ケア会議の開催

ア 自立支援型地域ケア会議の開催(定例開催)

町内の全ての介護支援専門員に毎回事例を提供いただき、事例の課題に対して、専門職からの助言を受け、利用者の自立支援につながるケアプランやサービス事業所のプログラム提供に努めました。

開催日 毎月第2(木)第3(水)

開催数 年間22回開催(4月・5月は月1回開催) 事例数 41事例

イ 個別課題の地域ケア会議

困難事例等、個別の課題に対し、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しました。

開催日 困難事例発生時に随時開催

開催数 8回 事例数 16事例

(7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

ア 研修会等

4月20日(金)	平成30年度介護サービス事業者連絡協議会総会 研修会:映画「ケアニン」上映 43人
6月15日(金)	その人らしい生活実践ネットワーク 新人・パート研修会 13人
6月27日(水)	「動き出しは当事者から」研修会 55人
10月26日(金)	その人らしい生活実践ネットワーク リーダー研修会① 12人
11月7日(水)	シナプソロジー研修会 56人
1月29日(火)	その人らしい生活実践ネットワーク リーダー研修会② 12人

イ 役員会 年間4回開催し、事業の打ち合わせや情報共有を図りました。

2 指定介護予防事業

(1) 介護保険認定の要支援1・2を受けた高齢者に対して、目標指向型の介護予防サービス計画書の作成を行い、また、介護予防・日常生活支援総合事業への移行支援を行いました。

ア ケアプラン作成件数

委託先の居宅介護支援事業所  
町内3事業所

年度	包括(件)	委託(件)
29年度	820	250
30年度	916	246
増減	96	▲4

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 生活支援体制整備事業

##### ア 介護予防リーダーの養成

(ア) 元気あっぷリーダー四期生養成講座 修了者数 12 人

養成講座：6 月 7 日(木)から 7 月 26 日(木)全 8 回

準備講座：8 月 2 日(木)から 8 月 9 日(木)全 2 回

講師：有明圏域リハビリテーション広域支援センター

理学療法士 北尾 昌平氏・宮本 彰吾氏/2 名

##### (イ) 元気あっぷ体操教室活動状況

元気あっぷリーダー養成講座終了されて、46 人の方が「元気あっぷリーダー」として地域の公民館等で体操の指導を実施しました。

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
開催回数	34	32	34	32	34	29	40	39	32	33	37	43
参加人数	370	326	347	322	326	329	429	413	360	371	404	474
年間合計	開催件数 419 回		参加人数 4,471 人									

##### (ウ) 元気あっぷリーダー情報交換会・交流会

	日 付	内 容	参加者(人)
第 1 回	5 月 31 日(木)	体操について	29
第 2 回	9 月 27 日(木)	DHC サプリ事業について、体力測定	38
第 3 回	1 月 24 日(木)	元気あっぷ体操教室開催に関するマニュアルについて	37
交流会	1 月 24 日(木)	1 期生から 4 期生までの交流	23

##### (エ) 元気あっぷリーダーフォローアップ講座

	日 付	内 容	参加者(人)
第 1 回	7 月 27 日(木)	元気あっぷ体操プラスバージョンを覚えよう!	27
第 2 回	12 月 6 日(木)	効果的な体力づくりのための食事について	34
第 3 回	3 月 28 日(木)	教室参加者を増やすには	23

##### イ 通所型サービス A 事業利用修了支援及び地域との連携支援

通所型サービス A 事業のプログラムを受け、その後必要な方に対し家族や地域とのつながりを支援し、自宅や地域での生活が安心して継続できるように支援しました。

通所 A 利用者(上沖洲区、古城区)及び介護保険事業所の利用者家族(新山区)を元気あっぷ体操教室等へつなぎました。

##### ウ 介護予防拠点施設等での介護予防に関する啓発活動

地域の介護予防拠点施設等を訪問し、げんきの館の役割や、活動内容・活用方法等を説明し、早い段階で予防認識や閉じこもり予防、地域での見守り・支え合いづくりの啓発活動を行いました。

##### (ア) 健康講話座談会

開催日 5 月 10 日(木) 場 所 ふれあい松原

内 容 「転倒を予防して健康寿命をめざすために」

講師：有明成人病院 理学療法士 北尾 昌平 氏

参加者 28 人

##### エ 関係機関や介護サービス事業所等との連携強化

元気あっぷ体操教室利用者で要介護認定を受けている方またはその家族について、利用中の様子の変化等を担当ケアマネや介護サービス事業所へ報告を行い、情報の

共有化に努めました。また、虚弱な利用者で支援が必要と思われる方については、行政担当課や包括支援センターへつなぎ、継続支援を行いました。

オ 生活支援体制整備事業先進地視察研修

サービス提供主体における連携体制づくりを目指すため、その先進地の取り組みについて視察研修を行い、協議体における情報共有及び連携強化の場として連携などの方法を学びました。

カ 有償ボランティア養成講座の開催

平成28年度より有償ボランティア事業によるサービス提供が始まっているが、利用会員の多様なニーズに対応できる協力会員の登録が不足しているため、有償ボランティア協力会員のスキルアップを図り、より多様なニーズに対応ができる必要となる一定の知識を習得するための養成講座を行い、有償ボランティアとしての活動の充実を図りました。

(ア) 講座

日時 平成30年4月26日(木) 9時30分～12時00分  
場所 げんきの館(社協職員が講師)

	講座内容
1	介護保険サービスと介護予防・日常生活支援総合事業について
2	有償ボランティアの必要性和、養成の目的を理解する
3	基本知識 認知症について(症状と対応)
4	訪問時の注意点(守秘義務・接遇等)と家事支援の方法
5	支援計画書の確認及び報告事項と記録の必要性、 協力会員登録について、 質疑応答他

(イ) 実習

日時 平成30年5月9日(水) 10時30分～12時00分  
実習先 訪問介護事業所「月華苑」

	実習内容
1	家事支援サービス提供の目的・注意点の説明
2	実際に訪問型サービスAを利用されている利用者宅へ訪問介護員に同行し、利用者宅での家事支援サービス見学と記録の実際
3	訪問を終えて、実習のまとめ

(2) 一般高齢者予防事業

ア 一般高齢者への介護予防教室の開催

開催延べ数 199 教室 参加者延べ人数 1,562 人

イ 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催(奇数月第3木曜日)

日付	参加者(人)	ボランティア(人)	主な内容
5月17日(木)	14	3	楽しい木育体験(ランプシェード作り)
7月19日(木)	21	3	うた声喫茶～懐かしのメロディー
9月20日(木)	18	2	スイーツを食べながらの認知症講話
11月15日(木)	16	2	ハンドマッサージ
1月17日(木)	27	3	うた声喫茶～懐かしのメロディー、尺八演奏
3月7日(木)	18	3	ものづくり(うりぼう作り)

#### 4 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用希望者へのケアプラン作成。

ケアプラン作成件数		
年度	包括(件)	委託(件)
29年度	1241	143
30年度	962	95
増減	▲279	▲48

#### 5 通所型サービスA事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施するにあたり、高齢者支援施設「げんきの館」において、住み慣れた地域での生活が継続できるように、一人ひとりの利用者のニーズに合わせ、地域や各関係機関、専門職とのネットワークを活用し、予防的視点を重視した自助力・互助力の向上の支援に努めました。

ア 循環型サービスの仕組みづくりとして、自助力・互助力の機能を高められるようなサービス内容の工夫に努めました。

イ 介護サービスからの卒業(自立支援)に向けて、各関係機関と連携し、協働的かつ一体的な取り組みに努めました。

ウ 利用者の趣味や特技を活かせる内容として、「趣味活動の場」を提供し、利用者同士の相互の「教え合い、学び合う」関係づくりに向け、より一層の生きがいがづくりの提供に努めました。

エ 社会参加を推進するとともに、自分が住んでいる地域との絆を深めてもらうために、ご本人が持っている能力を維持継続できるように支援しました。

#### (2) 具体的な提供プログラム

##### ア 運動機能向上プログラムの導入

(ア) 有明地域リハビリテーション広域支援センターと連携し、「くまもとホクホク体操」を導入し、運動機能評価を定期的実施し分析を行い、今後の運動指導の方法を検討し改善を図りました。

(イ) 利用者を地域活動につなげられるよう、自宅でも簡単にできる健康体操の継続に努め、それを含めた個別評価を行い、評価結果を基に個々の利用者への個別プログラムを検討し改善を図りました。

##### イ 健康教室

町保健センター「すこやか館」と連携し、利用者の健康長寿に向けたプログラムとして、防災料理と薬の飲み方についての教室を年6回開催しました。

##### ウ 認知症予防プログラム評価

認知症予防活動として、脳トレプリントやウォーキング、イージーキューブ等を実施し、定期的に認知機能の評価を行ないました。

##### エ 個別プログラムの実施

(ア) 一般高齢者事業(介護予防教室)への自己選択による参加を支援しました。

(イ) 利用者の趣味・特技を活かせる場の提供で、利用者の役割や生きがいがづくりと利用者同士の励まし合いの関係づくりができました。

(ウ) 菜園づくりを利用者の自主性で苗や種の植え付けや収穫を行い、おやつ作りやだご汁会等で還元しました。

(エ) 地域リハ、他事業所の理学療法士と通所A職員(健康運動指導士)が連携し、行う個別リハビリを実施しました。

(オ) 利用者が転倒しやすい場所を検証し、どのような状態で転倒したのかを分析し、その後の対応として福祉用具の助言や運動指導の提案を行いました。

オ 健康づくりへの取組として、「元気づくりプログラム」を導入し、セルフケアの確認を実施。

(ア) 月間カレンダー(げんきカレンダー)を活用して運動習慣の向上を目指した、一

人ひとりの日常生活の状況把握や利用目標・生活上の留意点などの確認を行ないました。

(イ) 利用者の残存機能を活かす取り組みとして、昼食準備と退席前の簡単な掃除を行ってもらい自宅でも行っている活動をげんきの館でも取り入れ、自宅での活動が維持改善できるようにしました。

カ 地域との交流活動の実施

(ア) RUN伴のエントリーとして2名参加し、地域住民と交流を行いました。

(イ) 長洲こどもの海保育園園児との交流として、月1回「げんきの日」を開催しました。社協事務局が実施する子どもデイサービスの受入れや腹赤小学校の小学生等との交流を図りました。

(ウ) 編み物や小物づくりなどの趣味活動を通して、どんぐりの駒、お手玉、小物入れ等制作など行い、利用者同士の親睦を深めることができました。また、世代間交流時のお礼の形で地域貢献に取り組む支援ができました。

(エ) だご汁会として、地域住民（上沖洲げんきあっぷ教室参加者）、区長、民生委員、町内居宅介護支援事業所、行政、他事業所利用者をげんきの館に招待し、利用者が主体的に参加できる工夫として企画から野菜収穫、調理までの一連の過程を実施したことを認知してもらいました。

(2) 年間利用状況

(単位：人)

月	開所 日数	実利用 者	(内 訳)		新規 者	延利用 者	一日 平均
			要支援1・2認定者	基本チェックリスト該当者			
4月	21日	61	23(新規2)	38(新規2)	4	251	12.0
5月	23日	62	24(新規0)	38(新規1)	1	271	11.8
6月	21日	66	27(新規3)	39(新規2)	5	244	11.0
7月	22日	65	24(新規1)	41(新規4)	5	250	11.4
8月	23日	62	23(新規0)	39(新規2)	2	240	10.4
9月	20日	61	23(新規0)	38(新規0)	0	231	11.0
10月	23日	59	21(新規2)	38(新規2)	4	259	11.3
11月	22日	63	22(新規1)	41(新規1)	2	271	12.3
12月	20日	59	22(新規2)	37(新規1)	3	245	12.3
1月	20日	62	19(新規2)	43(新規3)	5	235	11.8
2月	20日	60	19(新規0)	41(新規0)	0	245	12.3
3月	21日	59	17(新規0)	42(新規0)	0	231	11.0
年間	256日	739			31	2,973	11.6

年間登録者人数 149人

新規契約者実利用者 31人

利用者の変動 卒業2人

介護認定 18人

入院 1人

自宅療養 4人